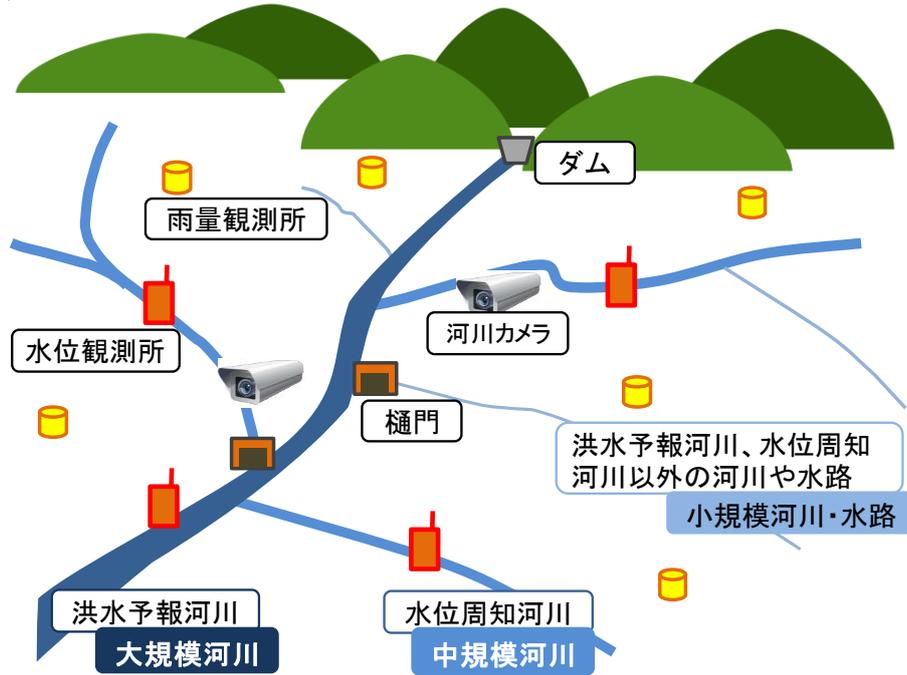


巻末資料（洪水・土砂災害に関する基礎知識、洪水予報河川・水位周知河川一覧）

■ 洪水

＜河川のイメージ＞



＜河川の種類と特徴の例＞

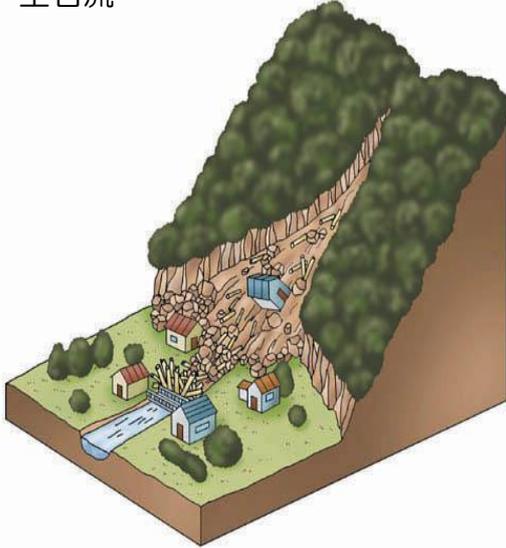
河川の種類	特徴	参考となる観測体制
大規模河川 （洪水予報河川）	<ul style="list-style-type: none">・氾濫した際には、被害が広範囲に及ぶ・避難のためのリードタイムを確保しやすい・避難の目安となる水位が設定されており、洪水予報が発表される・支川からの合流部に、樋門が設けられる場合がある・上流にダムがある	水位観測所（水位計） 河川カメラ
中規模河川 （水位周知河川）	<ul style="list-style-type: none">・避難の目安となる水位が設定されており、水位情報が発表される・樋門が閉鎖された場合に、内水氾濫が発生する可能性がある	水位観測所（水位計） 河川カメラ
小規模河川・水路	<ul style="list-style-type: none">・水位が短時間で上昇することがあり注意が必要・樋門が閉鎖された場合に、内水氾濫が発生する可能性がある・上流域にある雨量観測所での観測雨量が、河川の水位の上昇の目安となる	雨量観測所（雨量計） ※約5kmごとに設置

(素案)

■土砂災害

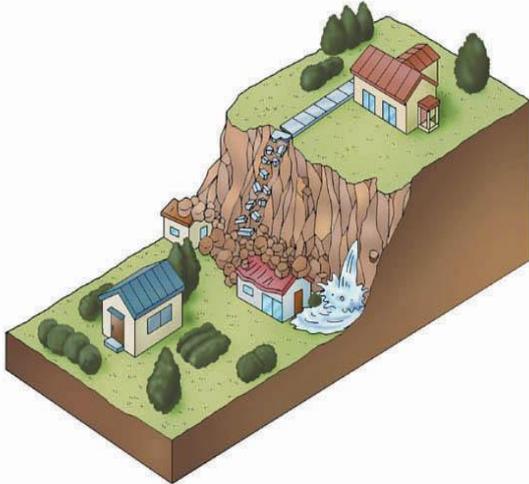
「土石流」・「急傾斜地の崩壊」・「地すべり」を総称して土砂災害と呼びます。こうした土砂災害は、局地的な豪雨や経験したことのない異常降雨、さらには地震などによって発生する恐れがあります。

・土石流



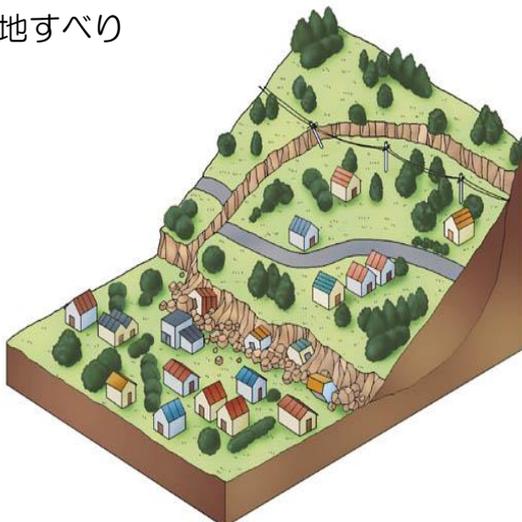
山腹や溪床を構成する土砂石礫の一部が、長雨や集中豪雨などによって水と一体となり、一気に下流へ押し流される現象

・急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）



雨や地震などの影響によって土の抵抗力が弱まり、急激に斜面が崩れ落ちる現象

・地すべり



斜面の土塊が、地下水などの影響により、地すべり面に沿ってゆっくりと斜面方向へ移動する現象

土砂災害警戒区域

●土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域を指定

- ・情報伝達・警戒避難体制の整備（市町村）
- ・ハザードマップの配布（市町村）

警戒避難情報の発信



ハザードマップ

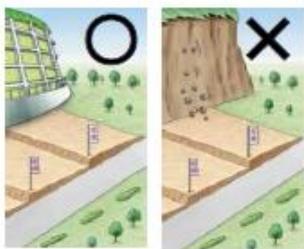


土砂災害特別警戒区域

●土砂災害が発生した場合に、建築物に損傷が生じ、生命又は身体に著しい危害が生じるおそれのある区域を指定

- ・特定開発行為に対する許可制（京都府）
- ・建築物の構造規制（京都府及び市町村）
- ・建築物の移転勧告（京都府）

特定開発行為に対する許可制



建築物の構造規制



建築物の移転等の勧告

